



株式会社セービング本社

- 本社所在地：山口県下関市幡生宮の下町8-12
- 事業概要：シルバービジネス事業
- 常時使用する従業員：503名  
(グループ全体・2025年10月時点)
- 現在の売上高：28.6億円  
(グループ全体・2025年2月期)
- 法人番号：8250001006666
- Web：https://e-saving.jp

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
近藤 和正

「暮らしを支えるサービス産業」として、社会課題の解決と企業価値の向上を両立する。

私たちは「シルバービジネスを通じて人と地域を幸せにする」という理念のもと、高齢者や障害のある方が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会を目指しています。㈱旨楽庵を中心とする食関連事業は、この理念を具現化する要の事業です。食は命を支える基盤であり、地域福祉の中心でもあります。私たちは、セントラルキッチンを軸とした新たな食支援モデルを構築し、高齢者施設への食事提供だけでなく、地域全体に“安全で温かい食”を届けます。また、災害時の非常食供給や備蓄、地元農産物の活用など、「地域の食インフラ」としての社会的使命を果たしていきます。グループ各社との連携によって、食・福祉・就労が一体となった“共生の仕組み”をつくり、地域の誰もが支え合える持続可能な社会を目指します。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

㈱旨楽庵（セントラルキッチン）を中核に、㈱セービング（シルバービジネス）・㈱NexusOne（ネクサスワン）（生活支援・就労支援）との3社連携により、地域に根ざした「食関連事業の拡大」と「福祉・生活支援の総合化」を進めます。グループ全体で2036年の売上高100億円達成に向け、年率約12%程度の成長を目指します。高齢者施設・在宅支援・障害者就労・配食・下処理・外販（ホテル・病院等）までを一貫して担う生産体制を構築し、地域の食支援ネットワークを全国へ広げます。

### 課題

成長の鍵となるのは、人材確保と育成、業務標準化とDX推進、そしてグループ3社の一体的なマネジメント体制の強化です。さらに、地域行政や医療機関、農業事業者との連携強化、災害対応力の向上、資金調達最適化も重要な課題として位置づけています。単独企業としての拡大には限界とリスクがあるため、グループとしての連携を強化し、経営・人材・販路を一体化することが重要です。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

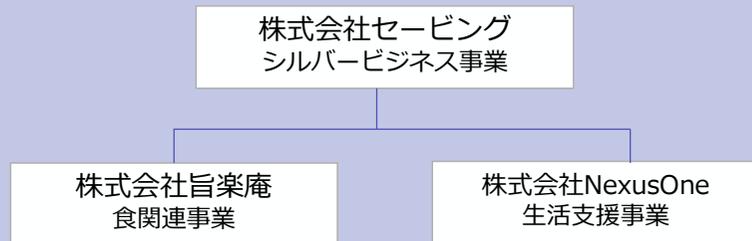
㈱旨楽庵は、セントラルキッチンを核に、地域の「食のプラットフォーム企業」として成長します。高齢者施設向けの調理・配送を主軸としながら、ホテル・医療・福祉・教育など他分野への展開を図り、地域全体を支える食供給ネットワークを形成します。既存工場も活用して下処理・加工拠点を整備し、食品ロス削減と雇用創出を両立。さらに、㈱NexusOne（ネクサスワン）の障害者就労支援事業と連携し、調理・加工・配送部門への就労機会を拡大します。㈱セービングが運営する高齢者施設を中心に、製造から提供までをグループ内で完結させることで、品質・コスト・安全性の一元管理を実現。この「内製化モデル」により、スピードと品質を両立した安定供給体制を構築します。

### 実施体制

グループの中核を担う㈱旨楽庵が製造・品質管理・物流を統括し、㈱セービングが経営・施設運営・販路拡大を、㈱NexusOneが人材・就労支援・地域連携を担当。3社が一体となり、経営・人材・品質・社会的価値を総合的に高める体制を構築します。また、デジタル化・標準化・教育体制を整備し、全社員が誇りを持って働ける環境をつくることで、人材の定着と技術継承を進めます。私たちは、食を通じて地域を支える“ソーシャルイノベーション企業”として、単なる売上100億円ではなく、\*\*「地域を幸せにする100億円」\*\*を実現してまいります。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現に向けた事業戦略



### ● 具体的施策

#### 【1】介護事業

- ・在宅支援事業の拡大：介護・看護・診療・配食等の支援を確立
- ・有料老人ホーム・サ高住等施設運営の拡大：開業医との連携（協同事業）

#### 【2】食関連事業

- ・セントラルキッチンを基盤とした食事提供・配食・食材製造事業の拡大
- ・クックフリーズ方式調理により販路拡大
- ・下処理加工（カット野菜等）の自社実施と販売
- ・高齢者施設・障害者施設・地域コミュニティへの食支援ネットワーク構築
- ・ホテル・病院・企業食堂など他業種への供給拡大
- ・災害時備蓄・地域防災食の提供拠点化
- ・地元農産物との連携による地産地消モデルの確立
- ・お米の自社生産への参入（農業法人の設立を視野に）
- ・精米工場の建設による一貫供給体制の構築

#### ● 公共性・社会性の確立

- ・災害時の備蓄・非常食供給拠点として、自治体との連携を推進。
- ・地域の高齢者・障害者に対する安定的な食支援ネットワークを構築。
- ・福祉事業・農業・製造をつなぐ「地域連携型社会モデル」を確立。

#### 【3】生活支援事業

- ・障害者就労支援事業所の開設、運営
- ・障害児童通所支援及び相談支援の実施

#### 【4】その他

- ・コンサルティング業務：介護事業所へのノウハウの販売と展開  
※困窮する介護事業者の改善サポート業務
- ・業務代行：介護保険請求等の代行業務
- ・人材派遣、人材紹介業の展開
- ・福祉施設への入居等に関する紹介及び斡旋業務の拡大